



生産・営業・開発体制のさらなる強化によりグローバルシェア拡大に取り組んでまいります

代表取締役社長
古川 健一

Q.1 2018年12月期の業績について教えてください。

放電加工機の販売台数の増加と生産性の向上により、売上高・営業利益とも過去最高を更新しました。

当社売上高の4割程度を占める中華圏において、上期は自動車関連、半導体関連を中心に継続的な需要が見られ、放電加工機の販売台数が大きく伸びた一方、第3四半期以降は、米中貿易摩擦による企業の投資判断の先送りなどが顕在化し、需要は減少しました。国内においては、自動車及び半導体関連需要が継続するとともに、北米でも自動車関連、医療機器関連の需要が堅調に推移いたしました。また、欧州、その他アジア地域においても、底堅く推移いたしました。

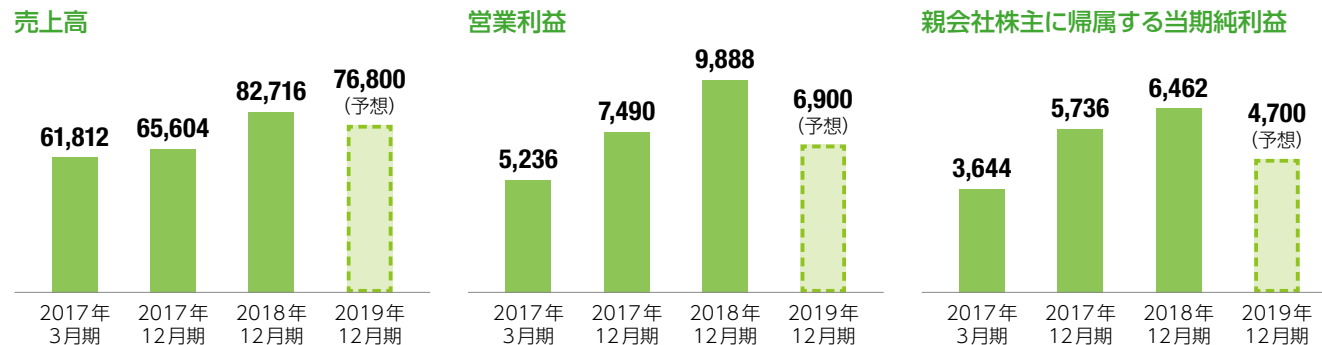
2018年12月期の業績は売上高827億16百万円、営業利益は98億88百万円となり過去最高を更新いたしました。

Q.2 取り組みと成果について教えてください。

積極的な展示会への出展により世界におけるブランド力を強化すると共に、各地域での設備投資を進め、経営基盤強化を図りました。

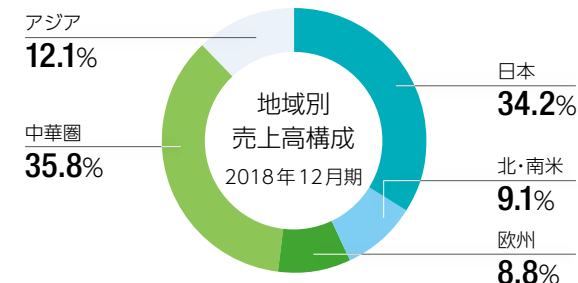
中長期的な観点から経営基盤強化の一環として、各地域における設備投資を積極的に行いました。生産拠点につきましては、国内では加賀事業所に多種多様な製品の生産を可能とするマルチファクトリーを11月に竣工し、海外ではタイの第2工場を増設し、生産体制を強化しました。販売拠点につきましては、中国では販売台数増加を促進するため上海オフィスに移転し、北米では販売・サービス体制強化のため新社屋を建設し、ショールームを拡張しました。研究開発については、横浜本社に新研究開発棟を建設し、金属3Dプリンタ関連の研究開発、新電源、新世代CNC等の新たな要素技術の開発、次世代技術の開発を強化しました。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



※2017年12月期は決算期変更に伴い、9か月の変則決算となっております。

地域別の売上高構成



2018年12月期の連結対象期間

決算会社	2017年12月期				2018年12月期			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
旧3月決算会社	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q	4Q
12月決算会社	9か月				12か月			

※12月決算会社は、中国の連結子会社7社です。

Q.3 株主還元について教えてください。

当社は将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当の実施を基本方針としており、DOE（株主資本配当率）2%以上を目標に掲げております。2018年12月期は1株当たり年間24円の配当とさせていただきます。2019年12月期は1株当たり年間25円とし、1円の増配を計画しています。

1株当たり配当金

	2018年12月期	2019年12月期(予想)
中間	12円	12円
期末	12円	13円
年間	24円	25円

Q.4 2019年12月期通期見通しと中期経営計画について教えてください。

2019年12月期は売上高の減少を見込んでおりますが、2021年12月期までに売上高863億円、営業利益98億円を展望しております。

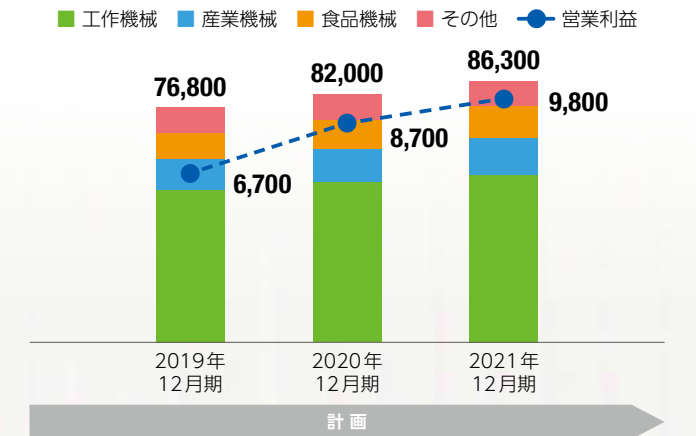
2019年12月期につきましては、中国を中心として自動車関連をはじめ他分野においても、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的需要はあるものの、貿易摩擦等の影響による中国経済の減速により、売上高は768億円と減少する見通しです。人件費の増加及び減価償却費等の固定費増加も見込まれ、営業利益は67億円を計画しております。

中期経営計画につきましては、2021年12月期までに売上高863億円、営業利益98億円を展望しております。工

作機械事業では、新興国での低価格機種「VLシリーズ」の販売強化、先進国での高精度ワイヤ放電加工機「ALシリーズ」の販売拡大により、市場シェアの拡大を図ります。また金属3Dプリンタの販売・研究開発を加速します。また、高精度領域をターゲットとした精密マシニングセンタの販路拡大を図ります。産業機械事業では海外売上高比率70%以上を目指し、市場ニーズの高い全電動射出成形機「MSシリーズ」の販路拡大及び製造原価の低減、販売体制の再構築・営業強化を図ります。アルミニウム射出成形機「ALM450」を主力製品に育て、金属3Dプリンタ専用射出成形機「MR30」による自動生産システム「ICF-V」の販路拡大に取り組みます。食品機械事業では、工場拡張による生産能力の増強及び収益力強化を目指します。特に国内外での無菌包装米飯製造装置の販路強化を図ります。

中期経営計画

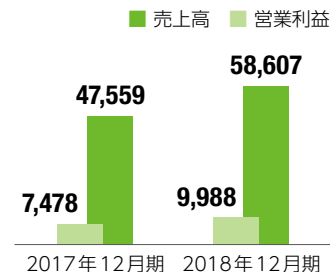
(単位:百万円)



セグメント別の概況 (単位:百万円)

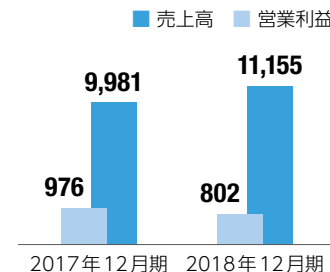
工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売



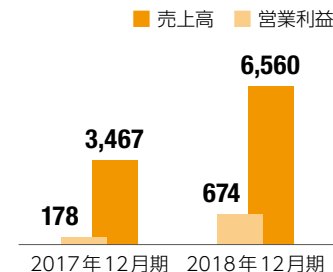
産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売



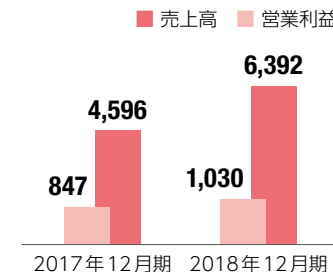
食品機械事業

製麺機無菌包装米飯製造装置等の食品機械及びその応用製品の開発・製造・販売



その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、セラミクス製品、リニアモータ応用製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、当社製品等のリース



※2017年12月期 は決算期変更に伴い、9か月の変則決算となります。

